

平成19年度 三番瀬スズガモ・カワウ食性等調査

千葉県
株式会社セルコ

調査内容

1. スズガモ胃内容物調査
刺し網漁で混獲されるスズガモについて、胃内容物を調査する。
刺し網漁の仕掛け時間が以前と変わったため、スズガモは全く捕獲されなかった。
2. カワウ吐出物調査
行徳鳥獣保護区内のカワウコロニーへ立ち入り、コロニー内に落ちているカワウの吐出物である魚類を採集し、同定を行う。
3. カワウ飛翔状況調査
カワウが主に採食を行っていると考えられる三番瀬及びその周辺の海域、三番瀬へ流入する河川に定点観察地点を設定する。
調査は、日の出前30分程度から日の出後3時間の間、飛来状況及び採食状況について調査を行う。

調査地点及び調査期日等

調査地点

1. スズガモ胃内容物: 三番瀬全域(刺し網操業地点)
2. カワウ吐出物 : 行徳鳥獣保護区内(カワウコロニー内)
3. カワウ飛翔状況 : 三番瀬(2地点)、葛西海浜公園周辺、江戸川放水路、旧江戸川、行徳鳥獣保護区(各1地点)の計6地点

調査期日

調査内容	調査日	調査日の潮汐値 (6時 7時 8時)	備考
1. スズガモ消化管内容物調査	平成19年11月10日		検体得られず
	平成20年3月20日		
2. カワウ吐出物調査	平成19年11月1日		
	平成19年11月8日		
	平成20年2月8日		
	平成20年2月25日		
	平成20年3月8日		
3. カワウ飛翔状況調査	平成20年3月17日		
	平成20年11月8日	160cm 133cm 105cm	調査地点: 5地点
	平成20年2月25日	186cm 203cm 198cm	調査地点: 5地点
	平成20年3月8日	205cm 195cm 166cm	調査地点: 6地点
	平成20年3月17日	151cm 144cm 138cm	調査地点: 6地点



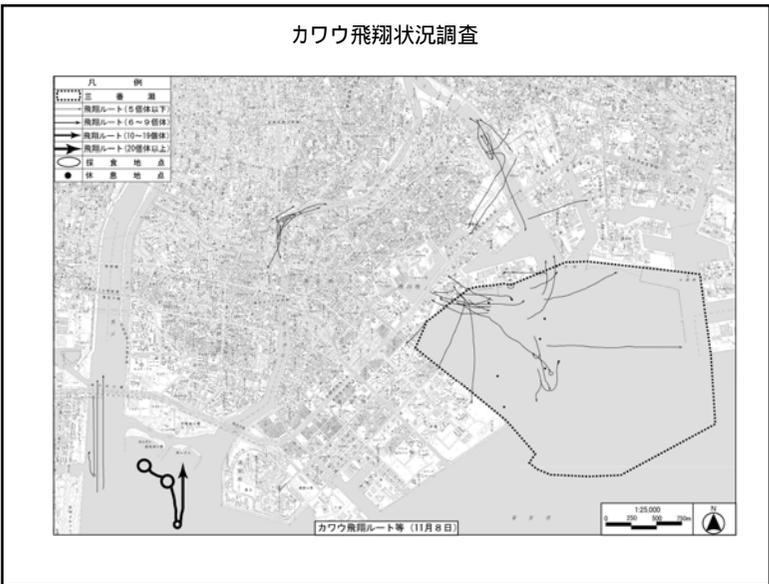
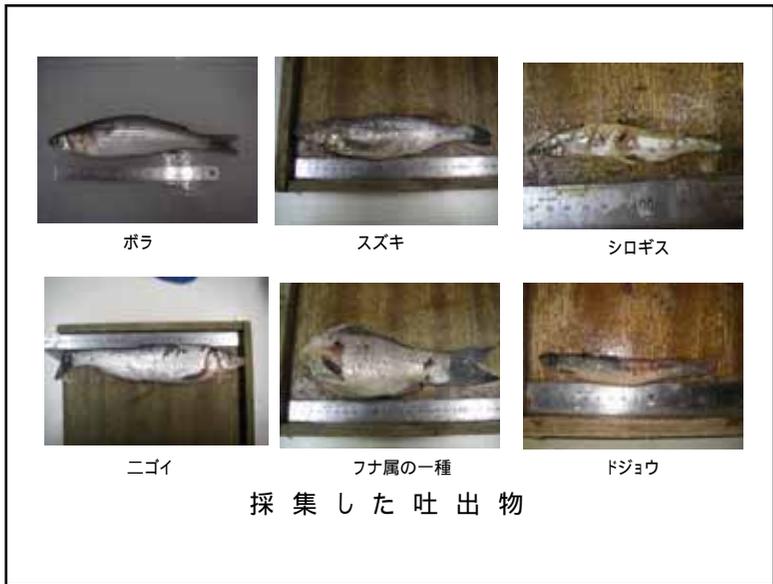


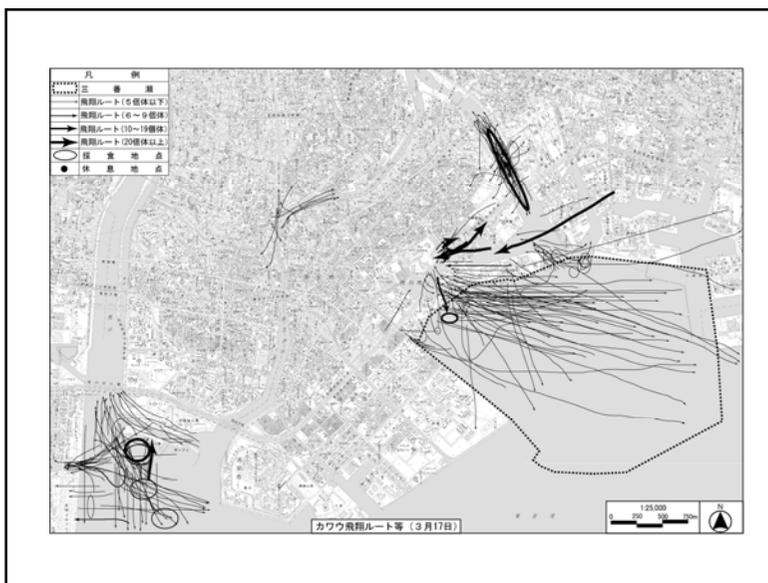
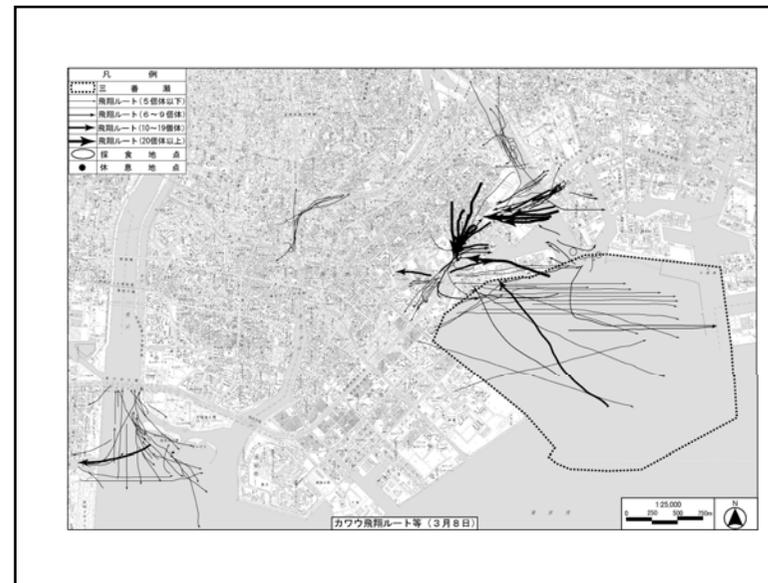
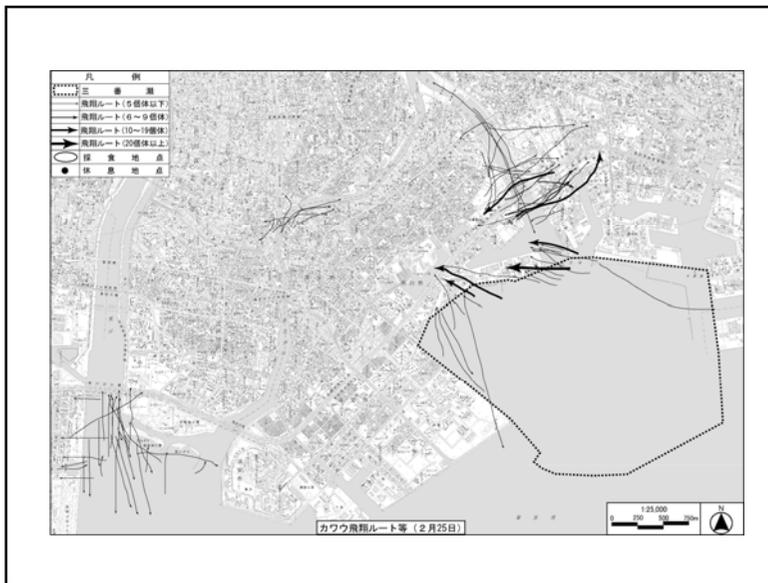
調査結果

2.カワウ吐出物調査

調査の結果、吐出物は、表に示すとおり、65個体を採集した。
 個体数は、ボラが43個体で最も多く、次いで、ドジョウが17個体、
 フナ属が2個体であった。
 スズキ、ニゴイ、シロギスは、それぞれ1個体であった。

種名	個体数	全長(mm)	採集日及び個体数	生息場所
ボラ	43個体	160mm ~ 290mm	11月1日:2個体、3月8日:19個体、 17日:22個体	海域
ニゴイ	1個体	328mm	2月4日	河川
スズキ	1個体	240mm	3月8日	海域
フナ属の一種	2個体	220mm ~ 230mm	3月8日	河川
ドジョウ	17個体	50mm ~ 140mm	3月17日	河川
シロギス	1個体	120mm	3月17日	海域
合計検体数	65個体			





ま と め

1. スズガモ胃内容物調査
 - ・スズガモを捕獲できなかったため、胃内容物調査はできなかった。
2. カワウ吐出物調査
 - ・吐出物は10cm～30cm前後の大きさで、特に20cm前後の魚が多い。
 - ・吐出物の魚種から、採食場所は、3月から11月は海域、12月～2月は河川の可能性が高いと推定された。
3. カワウ飛翔状況調査
 - ・飛翔方向からはカワウの採食地を推定することはできなかった。
 - ・11月及び2月は河川での飛翔が多く、3月以降は海域での飛翔が多かった。
 - ・海域での飛翔方向は、三番瀬よりも東の海域へ飛翔することが多かった。
 - ・三番瀬での採食は、11月及び3月に確認された。
 - ・採食は、飛翔の状況から見て11月～3月初旬には、前日の夕方に採食地付近へ行き、朝にねぐらへと帰ってくるものと考えられる。
 - ・3月中旬以降は、早朝に採食地付近へ行き、午前中にねぐらへと帰ってくる可能性が高い。